令和6年度

金沢大学大学院自然科学研究科
博 士 前 期 課 程
（一般選抜・特別選抜）

学　生　募　集　要　項

（第　２　次　募　集）

専攻名

数物科学専攻，物質化学専攻，機械科学専攻，
フロンティア工学専攻，電子情報通信学専攻，
地球社会基盤学専攻

令和5年10月

金沢大学大学院自然科学研究科

日　　程　　（博士前期課程）

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">専　　攻・コ ー ス</th><th colspan="2">一　般　選　抜</th><th colspan="3">特　別　選　抜</th><th rowspan="2">合格者発表</th></tr>
<tr><th>出願期間</th><th>試 験 日</th><th>出願期間</th><th colspan="2">選抜・試験日</th></tr>
<tr><td rowspan="2">数物科学専攻</td><td rowspan="2">数学コース
物理学コース
計算科学コース</td><td rowspan="3">11月13日(月)～
11月17日(金)</td><td rowspan="3">12月23日(土)</td><td rowspan="12">11月13日(月)～
11月17日(金)</td><td>社会人</td><td rowspan="12">12月23日(土)</td><td rowspan="12">一般選抜
特別選抜

令和6年
1月26日(金)</td></tr>
<tr><td>外国人留学生</td></tr>
<tr><td rowspan="3">物質化学専攻</td><td rowspan="2">化学コース</td><td>社会人</td></tr>
<tr><td>外国人留学生
出身学部等限定</td></tr>
<tr><td>応用化学コース</td><td></td><td></td><td>社会人
外国人留学生</td></tr>
<tr><td colspan="2">機　械　科　学　専　攻</td><td>11月13日(月)～
11月17日(金)</td><td>12月23日(土)</td><td>社会人
外国人留学生
出身学部等限定</td></tr>
<tr><td colspan="2">フロンティア工学専攻</td><td colspan="2"></td><td>外国人留学生</td></tr>
<tr><td colspan="2">電子情報通信学専攻</td><td colspan="2"></td><td>外国人留学生</td></tr>
<tr><td rowspan="2">地球社会基盤学専攻</td><td rowspan="2">地球惑星科学コース
社会基盤工学コース</td><td rowspan="2">11月13日(月)～
11月17日(金)</td><td rowspan="2">12月23日(土)</td><td>社会人
外国人留学生</td></tr>
<tr><td>出身学部等限定</td></tr>
</table>

備考

注1. 出願資格によっては，出願前に出願資格審査が必要な場合があります。審査に必要な書類の提出期間は，令和5年10月23日(月)～令和5年10月27日(金)までとなっており，上記の出願期間より期日を早く定めております。詳細については，Ⅳ.出願資格」，「Ⅴ.出願資格事前審査」（9ページ）を参照してください。

注2. 出願条件によっては，令和5年10月27日(金)までに志望する専攻長又はコース長に申し出る必要があります。詳細についてはⅪ～ⅩⅣにある各選抜の「出願条件」，「出願条件等」を参照してください。

注3. 試験日及び試験科目等の詳細については，Ⅺ～ⅩⅣにある各選抜の「選抜方法」を参照してください。

（注）本入学者選抜に関するすべての事項は，志願者本人がこの学生募集要項及び本学Webサイトを熟読することによって，必ず本人の責任で確認してください。

『自然災害により被災された志願者の検定料免除について』

金沢大学では，自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し，志願者の進学の機会を確保するため，検定料免除の特別措置を講じます。対象とする自然災害及び被災地域など，免除に関する詳細は，本学Webサイトを確認してください。

本学（入試情報）Webサイト　　本学トップページ＞教育＞入試情報

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/

検定料の免除を希望する場合は，出願前に本学学務部入試課まで連絡してください。

連絡先　TEL：076-264-5180　E-mail：nyushi-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp

目　　次

Ⅰ．募集人員 ･･･ 4
Ⅱ．募集専攻 ･･･ 4
Ⅲ．入学者受入方針･･･ 5
Ⅳ．出願資格 ･･･ 8
Ⅴ．出願資格事前審査･･･ 9
Ⅵ．出願期間 ･･ 10
Ⅶ．出願手続 ･･ 10
Ⅷ．試験場 ･･･ 16
Ⅸ．英語外部試験スコア･････････････････････････････････････ 16
Ⅹ．合格者発表 ･･･ 17
ⅩⅠ．一般選抜 ･･･ 18
ⅩⅡ．社会人特別選抜･････････････････････････････････････ 19
ⅩⅢ．外国人留学生特別選抜 ･････････････････････････････････ 20
ⅩⅣ．出身学部等限定特別選抜 ････････････････････････････････ 22
≪ⅰ．物質化学専攻（化学コース）≫･････････････････････････ 22
≪ⅱ．機械科学専攻≫･････････････････････････････････････ 22
≪ⅲ．地球社会基盤学専攻（地球惑星科学コース）≫ ･････････ 22
≪ⅳ．地球社会基盤学専攻（社会基盤工学コース）≫ ･････････ 23
ⅩⅤ．共通事項（一般選抜・特別選抜） ･････････････････････ 25
1. 身体に障がいのある者等の事前相談 ･････････････････････ 25
2. 専攻長・コース長への事前連絡･････････････････････････ 25
3. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例制度 ･･････ 26
4. 長期履修制度 ･･･ 26
5. 各専攻における注意事項及び配点 ･･････････････････････ 26
6. 研究分野・担当教員名簿 ･･････････････････････････････ 29
7. 問合せ先 ･･･ 29
8. 個人情報の保護 ･･････････････････････････････････････ 29
9. その他 ･･･ 29
ⅩⅥ．学生生活･･ 30
1. 授業料等納付金 ･･････････････････････････････････････ 30
2. 入学料免除 ･･ 30
3. 授業料免除 ･･ 30
4. 奨学金 ･･ 30
5. 卓越大学院プログラム
「ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム」 ･････････ 31
6. 外国人留学生日本就職促進プログラム
留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト ･････････ 32
自然科学研究科の所在地略図･････････････････････････････ 33

令和6年度
金沢大学大学院自然科学研究科(博士前期課程)
学生募集要項（第２次募集）
一般選抜・特別選抜

Ⅰ．募集人員

専攻（コース）		募集人員			
		一般選抜	特別選抜		
			社会人	外国人留学生	出身学部等限定
数物科学専攻	(数学コース)	若干名	若干名	若干名	－
	(物理学コース)	若干名	若干名	若干名	－
	(計算科学コース)	若干名	若干名	若干名	－
物質化学専攻	(化学コース)	若干名	若干名	若干名	若干名
	(応用化学コース)	－	若干名	若干名	－
機械科学専攻		若干名	若干名	若干名	若干名
フロンティア工学専攻		－	－	若干名	－
電子情報通信学専攻		－	－	若干名	－
地球社会基盤学専攻	(地球惑星科学コース)	若干名	若干名	若干名	若干名
	(社会基盤工学コース)	若干名	若干名	若干名	若干名

Ⅱ．募集専攻

【数物科学専攻】：数学と物理学の有機的連携による新しい数物科学の教育研究を行います。
数学コース：数理構造学及び数理解析学に重点を置いたコース
物理学コース：実験物理学及び理論物理学に重点を置いたコース
計算科学コース：計算数理学及び計算機実験学に重点を置いたコース
修了者の取得学位は修士(理学又は学術)です。

【物質化学専攻】：化学コースでは物質動態・物質機能・物質設計に関する原子・分子レベルの基礎的教育研究を行います。修了者の取得学位は修士(理学又は学術)です。応用化学コースではエネルギー・環境問題の解決やマテリアルの創成を目指す応用的教育研究を行います。修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

【機械科学専攻】：持続可能な社会の実現において，機械工学にはモノづくりの高度化だけでなく，ＩＴ化・グローバル化の進展など，急速な環境変化への対応が求められています。本専攻では，４つの学位プログラム（設計生産システムプログラム，先端材料プログラム，応用数理プログラム，プロセス革新プログラム）の連携によって，近未来社会の変化や発展を柔軟に予見しながら，機械工学分野とその学際領域における基盤および先端技術の教育研究を行います。修了者の取得学位は，修士(工学又は学術)です。

【フロンティア工学専攻】：フロンティア工学専攻では，電子機械，機械工学，化学工学，電子情報分野における高い専門教育と，既存の学術分野の境界を開拓し工学分野を融合した先端技術の教育研究を行います。修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

【電子情報通信学専攻】：電気・電子・情報・通信工学の分野について総合的教育研究を行います。修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

【地球社会基盤学専攻】：地球科学や社会基盤工学の多様な分野について複合的・総合的な教育研究を行います。地球惑星科学コースの修了者の取得学位は修士(理学又は学術)です。社会基盤工学コースの修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

Ⅲ．入学者受入方針

【数物科学専攻】：自然科学の基礎分野に興味を持ち，数学や物理学又は計算科学に関する基礎知識を備えており，自らの専門分野に強い探究心があるとともに，一般企業や研究機関の研究者や教育機関の教員として，将来活躍することを目指す，意欲ある学生を求めます。

入学者選抜の基本方針

「数学コース」数学の専門的基礎科目(微分積分，線形代数，集合と位相，複素関数論)の学力と英語の読解力・運用力を重視します。また，数学を学ぼうとする意欲と総合的能力を口述試験を通じて評価します。

「物理学コース」物理学の専門的基礎科目(力学(解析力学を含む)，電磁気学，熱統計力学，量子力学等)の学力と，科学分野の国際的な公用語である英語の学力を重視します。また，物理学を学び，それにより社会の発展に貢献する意欲を口述試験を通じて評価します。

「計算科学コース」計算科学の専門的基礎科目としての数学(微分積分，線形代数)，基礎物理(力学，電磁気学，量子力学，熱統計力学)，計算機(プログラミング，数値計算)の学力，及びコミュニケーションの手段としての英語の学力を重視します。また，数理現象，自然現象に対する関心の高さ，興味の深さを動機付けとして口述試験を通じて評価します。

入学前に必要な基礎学力

「数学コース」英語及び数学の専門的基礎科目(微分積分，線形代数，集合と位相，複素関数論)についての基礎学力を身につけておくことが必要です。

「物理学コース」英語及び物理学の専門的基礎科目(力学(解析力学を含む)，電磁気学，熱統計力学，量子力学等)についての基礎学力を身につけておくことが必要です。

「計算科学コース」英語及び計算科学の専門的基礎科目としての数学(微分積分，線形代数)，基礎物理(力学，電磁気学，量子力学，熱統計力学)，計算機(プログラミング，数値計算)についての基礎学力を身につけておくことが必要です。

【物質化学専攻】：物質化学専攻では，物質をキーワードとし，自然界で起こる様々な現象を原子核レベルから分子集合系レベルまでの広い範囲にわたって化学的に理解すると同時に，21世紀に必要とされる環境に適合した新しい機能性物質の創成と応用，さらにそれらの実用化に至るまでの自然界と調和した社会の確立と産業の持続的発展と構築を目指し「基礎化学及び応用化学」を通じてグローバル社会に積極的にチャレンジする情熱と意欲をもつ学生を求めています。加えて，研究を通して得た成果を広く世界に向けて発信し，さらに高度な学問を学ぼうとする意欲的な学生を求めています。

入学者選抜の基本方針

基礎から専門にわたる化学の知識と理解度，及び英語の学力を重視します。また，口述試験(成績証明書を含む)により，専門基礎学力，勉学意欲等を評価します。

入学前に必要な基礎学力

物理化学，無機化学，有機化学，分析化学などの化学系基礎科目及び実験技術について充分に理解・修得できていることが必要です。また，教養・基礎科目(言語，社会系，自然科学系科目)も自分の知見を広げると共に，意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。さらに，化学の専門知識・技術とともに幅広い教養と豊かな人間性を身につけ，科学・科学技術・文化の発展と充実に貢献し，グローバル社会および地域社会に積極的に貢献できる理学及び工学的素養を身につけてください。

【機械科学専攻】：機械工学分野における専門性を深化させるとともに，学際的な課題や技術革新に対応できる専門知識と俯瞰力・総合化力を醸成し，高い倫理観と国際性のもと，未来を見据えた

機械科学の探求によって人類社会の持続的発展に貢献できる専門性の高い技術者を育成します。このような観点から，本専攻では，次のような能力・資質を備えた入学者を求めます。

1. 数学・物理学の基礎学力及び機械工学全般にわたる基本的な知識を備える人
2. 講義や教科書の理解及び国際コミュニケーションに必要な英語力を有している人
3. 志望するプログラムに関心を持ち，創造的・独創的に思考しながら，主体的に研究課題に取り組む意欲を持つ人
4. 新しい機械科学を開拓し，人類社会の持続的発展と国際社会に貢献しようとする意欲に満ちた人

入学者選抜の基本方針

機械工学分野における基礎的素養と学習意欲を問うための学力検査と口述試験を行います。さらに，英語外部試験スコアを利用して，英語能力の審査を行います。これらの結果に基づいて，志願者の能力や資質を総合的に評価します。

入学前に必要な基礎学力

数学，物理学，機械系基礎科目(材料力学，振動工学，流れ学，熱力学等)の学力，文献の読解や国際コミュニケーションのための英語力が求められます。

【フロンティア工学専攻】：工学の各分野における専門性を深化させるとともに，これらを融合して未来社会で必要とされる課題やイノベーションに対応できる専門知識と俯瞰力・総合化力を醸成し，高い倫理観と国際性のもと，人類社会の持続的発展に貢献できる技術者・研究者を育成します。このような観点から，本専攻では，次のような能力・資質を備えた入学者を求めます。

1. 数学・物理学の基礎学力及び電子機械，機械工学，化学工学，電子情報工学の各分野における基本的な知識を備える人
2. 講義や専門書，学術論文や特許の理解及び国際コミュニケーションに必要な英語力を有している人
3. 志望するプログラムに関心を持ち，創造的・独創的に思考しながら，主体的に研究課題に取り組む意欲を持つ人
4. 先端技術により未来社会を開拓し，人類社会の持続的発展と国際社会に貢献しようとする意欲に満ちた人

入学者選抜の基本方針

フロンティア工学専攻では，機械工学系，化学工学系あるいは電子情報工学系における基礎的素養と学習意欲を問うための学力検査(筆記試験，口述試験)，英語外部試験スコア，学業成績証明書を総合的に評価します。

入学前に必要な基礎学力

機械工学系：数学，専門科目(材料力学，振動工学，流れ学，熱力学)，英語
化学工学系：数学，専門科目(プロセス工学量論，移動現象論(流体工学・伝熱工学)，化学反応速度論・反応工学，化学工学熱力学・物理化学)，英語
電子情報工学系：数学，専門科目(電気回路，電子回路，論理回路)，英語

【電子情報通信学専攻】：創造力豊かで，新分野開拓にも意欲を持ち，自立心と統率力，国際性を備えた，電気電子工学，情報通信工学分野の研究者や技術者の育成を目指します。また，最新の情報技術からグローバルなエネルギー対策や環境問題まで，専門性に加えて総合的・学際的な課題に取り組むことができる人材を育成します。さらに，世界に情報を発信できる専門家として，研究成果に関する的確なプレゼンテーション力とディスカッション力，英語でのコミュニケーション力を有する国際人の育成を行います。

このため，本専攻では，電気電子工学，情報通信工学の専門知識を有し，自らの専門分野に強い探究心を持ち，さらに高度な学問を学ぼうとする意欲的な学生を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

学力検査（数学および専門科目の筆記試験，口述試験），英語外部試験スコア，学業成績証明書等を総合して評価します。

入学前に必要な基礎学力

英語，数学，専門科目（電気回路，電子回路，電気磁気学，情報理論，アルゴリズムとデータ構造，論理回路等）

【地球社会基盤学専攻】： 21世紀における地球生命圏の保全，地域環境の形成及び社会基盤整備においては，われわれ人類の生存基盤となる地球，日常の生活基盤となる社会及びそれらを取り巻く環境を対象に，理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力が求められます。本専攻では明確な倫理観と論理的思考のもと，地球惑星科学・環境科学や環境工学，土木工学，防災工学，都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識を有し，地域からグローバルまでさまざまな局面において，社会をリードする研究者・技術者・教育者を養成します。科学的探究心に富み，これらの分野の専門知識を深めて活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待します。

入学者選抜の基本方針

地球社会基盤学専攻は，学力検査(英語外部試験，筆記試験及び口述試験)及び学業成績証明書により，英語と数学，地球惑星科学の探求，地域環境の形成及び社会基盤整備の幅広い局面で必要となる知識に関する志願者の能力や資質を総合的に評価します。

入学前に必要な基礎学力

英語及び課程教育の基礎となる数学，並びに地質学，古生物学，岩石学，鉱物学，結晶学，地球環境学，地球年代学及び地球物理学，又は構造力学，水理学，土質力学，計画数理学及び環境工学等の習得が必要です。

Ⅳ．出願資格

各選抜の出願資格は，該当選抜欄に●のある号になります。

各選抜に出願することができる者は，該当選抜欄の●のある号の一に該当する者とします。

なお，出願資格以外にも，個別の出願条件が設定されている選抜もあります。出願条件の詳細は，各選抜の該当ページを参照してください。

一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	出身学部等限定特別選抜	出　願　資　格
●	●	●	●	(1)　学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者及び令和6年3月31日までに卒業見込みの者
●	●	●	●	(2)　学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和6年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
●	●	●	●	(3)　外国において，学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
●	●	●	●	(4)　我が国において，外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
●	●	●	●	(5)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16 年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
●				(6)　外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において，修業年限が三年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。) により，学士の学位に相当する学位を授与された者(※1)
●	●	●	●	(7)　文部科学大臣の指定した者
●	●		●	(8)　専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
●			●	(9)　学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって，当該者を本研究科において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの(※1)
●			●	(10)　次の①から④に該当する者であって，本研究科が，所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの(※1) ①　令和6年3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学見込みの者(※2) ②　外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者 ③　我が国において，外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者 ④　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
●	●	●	●	(11)　本研究科において，個別の入学資格審査により，出願資格(1)に定める者と同等以上の学力があると認めた者で，令和6年3月31日までに22歳に達するもの(※1)

※1. **出願資格(6)，(9)，(10)又は(11)により出願しようとする者は，出願前に個別に出願資格審査を行います。9ページの「Ⅴ．出願資格事前審査」を参照してください。**

※2. **出願資格(10)の①については，学校教育法の規定に基づき，大学に「編入学」した者(短期大学や専門学校等を卒業した者などが対象)は，適用されません。なお，休学した期間は，在学期間に含めないものとします。**

また，以下の出願資格審査の要件を満たす必要があります。

ア　出願時の成績証明書に記載されている修得単位数の9/10以上が80%以上の評価をされている者で，3年次末においても同様の成績基準を満たす見込みの者

イ　4年次に履修すべき必修科目などを除き，令和6年3月31日までに卒業資格となるすべての単位を十分に余裕をもって修得する見込みの者

Ⅴ．出願資格事前審査

Ⅳ．出願資格(6)，(9)，(10)又は(11)により出願しようとする者については，出願前に個別に出願資格審査を行います。

１．提出書類

書　類　等	摘　　要
入学試験出願資格認定申請書【様式Ⅰ】	本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4判で印刷したもの
出願書類等	本要項の「Ⅶ．出願手続　2.出願書類等」(10～12ページまで)の「③その他必要な提出書類」を提出してください。
出願資格(10)の①に関する書類	出願資格(10)の①により出願しようとする者のみ ア　推薦書(様式随意。厳封したもの。関係教員が記入し，学長又は所属長が推薦する。) イ　履修の手引等(授業内容一覧を含む。本学理工学域在学者は不要。) ウ　在籍期間証明書(休学期間を明記したもの。本学理工学域在学者は不要。令和5年4月1日以降に発行したものに限る。)

２．提出期間

令和5年10月23日(月)から令和5年10月27日(金)まで

注)受付時間は午前9時から午後4時30分までです。
郵送の場合も提出期間の最終日までに必着(提出期間最終日の前々日の発信局日付印のある書留速達は有効)です。

３．提出先

金沢大学理工系事務部学生課入試係
〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-234-6823

注)郵送する場合は，必ず，**「書留速達」**とし，封筒の表に**「大学院自然科学研究科博士前期課程出願資格審査申請書類在中」**と朱書してください。

４．審査の結果

審査の結果は，申請者あて郵便により通知します。

認定された者は，出願期間内にWeb出願システムで出願情報の登録，検定料の支払，証明写真のアップロードを行い，出願確認票（提出用）を郵送（令和5年11月17日（金）までに必着。書留速達郵便に限る。）してください。出願確認票（提出用）の提出をもって，出願手続きが完了します。

なお，出願確認票（提出用）以外の出願書類をあらためて提出する必要はありません。

Ⅵ. 出願期間

令和5年11月13日(月)から令和5年11月17日(金)まで

注1. 受付時間は午前9時から午後4時30分までです。
郵送（書留速達に限る）の場合も，出願期間の最終日までに必着(出願期間最終日の前々日の発信局日付印のある書留速達は有効)です。

注2. 出願資格によっては，出願前に出願資格審査が必要な場合があります。審査に必要な書類の提出期間は，令和5年10月23日(月)～令和5年10月27日(金)までとなっており，上記の出願期間より期日を早く定めております。詳細については，「Ⅳ. 出願資格」，「Ⅴ. 出願資格事前審査」(8～9ページ)を参照してください。

注3. 出願条件によっては，令和5年10月27日(金)までに志望する専攻長又はコース長に申し出る必要があります。詳細については，XI～XIVにある各選抜の「出願条件」，「出願条件等」を参照してください。

注4. Web出願システムは，令和5年11月6日(月)午前9時から事前登録が可能です。

Ⅶ. 出願手続

本学の出願方法は，Web 出願限定です。学生募集要項の紙媒体（冊子）での配布は行いません。

１．出願手続

Web 出願の流れ

①Web出願システム

Web出願システムへは，本学（入試情報）Webサイト
（本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞Web出願）
https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/internet_entryからアクセスできます。

≪Web 出願デモサイト≫

Web 出願を体験できるデモサイトを，本学Web サイト
（本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞Web 出願）に掲載しています。

②出願書類の提出先

〒920－1192　金沢市角間町　金沢大学理工系事務部学生課入試係

〈注意〉
Web出願は，出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは，完了しません。出願期間内に，証明写真のアップロード及び「２.出願書類等」の窓口への持参又は郵送（出願期間に必着）を済ませ，内容に不備がなかった場合完了とします。

２．出願書類等

〔出願に当たっての注意事項〕
出願書類に不備がある場合は，受理しないことがあります。
出願書類受理後は，いかなる理由があっても書類の返却，記載事項の変更には応じません。
出願書類に不正な事実があった場合は，入学許可を取り消すことがあります。

①Web出願システムでアップロード作業が必要なもの

証明写真データ	Web出願システムで登録及び検定料支払後，登録完了メールに記載されているURLから，志願者本人の写真のアップロードを行ってください （注）　志願者本人と判別できるもので，**カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近3ヶ月以内に撮影**した100KB～5MB のjpg 又はpng 形式のデータを使用してください。

※証明写真以外のデータはアップロード不要です。

②Web出願システムから印刷するもの（印字されている内容に誤りがないか確認してください。）
※窓口に持参又は郵送してください。

出願確認票 （提出用）	**Web出願システムで登録後，申込確認ページからA4判でカラー印刷**し，提出してください。 （注） 出願確認票は，検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。出願確認票（確認用）とは異なるので，注意してください。
宛名ラベル	**Web出願システムで登録後，申込確認ページからA4判でカラー印刷**したものを送付用の封筒に貼付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。 （注） 封筒は，**市販の角形2号封筒（240㎜×332㎜）**を使用し，**書留速達**で郵送してください。国際スピード郵便(EMS)での郵送も可能(その場合，印刷した宛名ラベルは同封する)です。 **※窓口に持参する場合は，宛名ラベル及び角形2号封筒は不要です。**

③その他必要な提出書類
※窓口に持参又は郵送してください。

①志願者調書【様式1】	氏名，志望する専攻・コース・系，研究分野，学歴，職歴を記入してください。
②学業成績証明書	出身大学長，学部長又は出身短期大学長，高等専門学校長，学校長発行のもの 学業成績証明書に卒業(修了)又は卒業(修了)見込みであることが記載されている場合は，卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書の提出は不要です。 注1.短期大学専攻科又は高等専門学校専攻科の修了(見込)者は，<u>専攻科及び本科両方の証明書を提出</u>してください。 注2.**外国の学校の修了(見込)者は，<u>日本語又は英語で作成された証明書を提出</u>してください。**
③卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	
※以下は該当者のみが提出してください。	
④推薦書・意見書【様式2】	＜社会人特別選抜志願者＞ 勤務先の所属長が作成・厳封したもの ただし，出願時在職していない者は原則として卒業研究の指導教員が作成・厳封したもの
⑤志願理由書【様式3】	大学時代などこれまでの研究活動，数物科学専攻計算科学コース又は地球社会基盤学専攻社会基盤工学コースを志望する理由，特に研究を希望する分野・内容，大学院での抱負，大学院修了後に活躍したい分野などについて簡潔・明瞭に記入してください。 （数物科学専攻計算科学コース志願者は1,500字程度で，所定様式に記入しきれない場合は別葉を加えてください。地球社会基盤学専攻社会基盤工学コース志願者は1,000字以内で記入してください。）
⑥自己申告書【様式4】	これまで興味を持って取り組んできたこと，得意科目，希望する研究分野・内容及び大学院進学後の抱負などについて，400字程度で簡潔にまとめて記入してください。
⑦研究(希望)計画書 【様式5】	入学後に希望する課題又は分野等について，概要を1,000字程度にまとめて記入してください。
⑧大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請について【様式6】	大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用(26ページ参照)を申請する者は，提出してください。(選抜方法に関わらず，申請できます。)
⑨業績内容調書(様式随意)	実務経験の業績等を1,000字程度にまとめたもの
⑩研究・開発業務等の概要又は実務経験の概要 (様式随意)	出願資格(11)により出願する者は，「研究・開発業務等の概要」又は「実務経験の概要」(A4判3枚以内)を提出してください。

⑪学士の学位授与証明書等	出願資格(2)により出願する者は，以下のものを提出してください。 ［学位を授与された入学志願者］ ○独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書 ［学位の授与を申請中の入学志願者］ ○独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与申請受理証明書 ［学位の授与を申請予定の入学志願者］ ○短期大学長，高等専門学校長又は大学校長が作成した学位の授与を申請する予定である旨の証明書(様式随意) ※出願資格(2)により出願し，本研究科の選抜試験に合格した者で，学位授与の申請を行わなかった場合，その他学士の学位が得られないこととなった場合は，その旨を，本学大学院自然科学研究科長あてに速やかに通知してもらうよう短期大学長，高等専門学校長又は大学校長に申し出てください。
⑫パスポートの写し ⑬在留カードの写し	外国人の志願者は，次の書類を提出してください。 ○パスポート(氏名が記載されたページ)の写し 出願時に日本に在留している者は，次の書類も併せて提出してください。 ○在留カード(表・裏)の写し

※①，④，⑤，⑥，⑦，⑧については，本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4判で印刷してください。

３．検定料の支払

①検定料　　30,000円

検定料の他に，サービス利用料として別途990円が必要です。

国費外国人留学生は，検定料の支払は不要です。出願する前に，XV．共通事項(一般選抜・特別選抜)７．問合せ先（29ページ）へ連絡してください。

②支払期間

令和5年11月6日（月）～11月17日（金）

③支払方法

コンビニエンスストア，銀行ATM（Pay-easyでの支払），クレジットカード（VISA，MasterCard，JCB，AMERICAN EXPRESS，Diners Club）及びネットバンキング（PayPay銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。）のいずれかで支払可能です。

（注）1．支払を完了すると，出願情報の修正はできません。必ず支払前に入力した出願情報（特にメールアドレスや電話番号）に間違いがないか確認してください。

2．銀行窓口での支払はできません。

3．コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。

4．クレジットカード及びネットバンキングの名義は，志願者と同一である必要はありません。

5．出願書類受理後は，いかなる理由があっても検定料の返還には応じません。
ただし，検定料の支払後，出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので，令和5年12月15日（金）までに手続を行ってください。なお，締切を過ぎてからの請求には一切応じません。

検定料返還手続方法は，以下のURLを確認してください。

本学（入試情報）Web サイト

本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞検定料免除・返還

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan/

４．受験票の印刷

令和5年12月4日(月)に，Web出願システムより受験票の印刷が可能になります。「申込確認画面」からログインし，A4判で印刷してください。

①受験票には，受験上の注意・試験会場案内が確認できるWebサイトのURL及び2次元コードがあります。必ずアクセスして内容を確認の上，受験してください。

②氏名等に間違いがある場合には，理工系事務部学生課入試係へ連絡してください。

連 絡 先 076-234-6823

③試験当日は，印刷した受験票を必ず持参してください。

④受験番号は，入学手続にも必要です。それまで「受験票」は大切に保管してください。

５．出願の際に必要となる書類一覧

専攻・コース		選抜	① 志願者 調書 【様式1】	② 学業成績 証明書 ③ 卒業(修了) 証明書 又は 卒業(修了) 見込証明書	④ 推薦書・ 意見書 【様式2】	⑤ 志願 理由書 【様式3】	⑥ 自己 申告書 【様式4】	⑦ 研究 (希望) 計画書 【様式5】
数物科学	数学コース 物理学コース	一般選抜	○	○	—	—	—	—
	計算科学コース	一般選抜	○	○	—	○	—	—
	数学コース 物理学コース 計算科学コース	社会人特別 選抜	○	○	○	—	—	○
	数学コース 物理学コース	外国人留学生 特別選抜	○	○	—	—	—	—
	計算科学コース	外国人留学生 特別選抜	○	○	—	○	—	—
物質化学	化学コース	一般選抜	○	○	—	—	—	—
	化学コース	社会人特別 選抜	○	○	○	—	—	○
	応用化学コース	社会人特別 選抜	○	○	○	—	—	○
	化学コース 応用化学コース	外国人留学生 特別選抜	○	○	—	—	—	—
	化学コース	出身学部等 限定特別選抜	○	○	—	—	○	—
機械科学	—	一般選抜	○	○	—	—	—	—
		社会人特別 選抜	○	○	○	—	—	○
		外国人留学生 特別選抜	○	○	—	—	—	—
		出身学部等 限定特別選抜	○	○	—	—	—	—
フロンティア工学	—	外国人留学生 特別選抜	○	○	—	—	—	—
電子情報 通信学	—	外国人留学生 特別選抜	○	○	—	—	—	—
地球社会 基盤学	地球惑星科学コース 社会基盤工学コース	一般選抜	○	○	—	—	—	—
		社会人特別 選抜	○	○	○	—	—	○
		外国人留学生 特別選抜	○	○	—	—	—	—
	地球惑星科学コース	出身学部等 限定特別選抜	○	○	—	—	○	—
	社会基盤工学コース	出身学部等 限定特別選抜	○	○	—	○	—	—

注)出願書類とは別に，選抜試験日にTOEIC等のスコアの提示が必要となる場合がありますので，「Ⅸ.英語外部試験スコア」(16～17ページ)で必ず確認してください。

<table>
<tr><th colspan="2">専攻・コース</th><th>選抜</th><th>⑧
大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請について【様式6】</th><th>⑨
業務内容調書（様式随意）</th><th>⑩
研究・開発業務等の概要
又は
実務経験の概要
（様式随意）</th><th>⑪
学士の学位授与証明書等</th><th>⑫
パスポートの写し</th><th>⑬
在留カードの写し（表・裏）</th></tr>
<tr><td rowspan="5">数物科学</td><td>数学コース
物理学コース</td><td>一般選抜</td><td rowspan="5">希望者</td><td>—</td><td rowspan="5">該当者</td><td rowspan="5">該当者</td><td rowspan="3">外国人の志願者</td><td rowspan="5">日本に在留する外国人</td></tr>
<tr><td>計算科学コース</td><td>一般選抜</td><td>—</td></tr>
<tr><td>数学コース
物理学コース
計算科学コース</td><td>社会人特別選抜</td><td>—</td></tr>
<tr><td>数学コース
物理学コース</td><td>外国人留学生特別選抜</td><td>—</td><td>○</td></tr>
<tr><td>計算科学コース</td><td>外国人留学生特別選抜</td><td>—</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="5">物質化学</td><td>化学コース</td><td>一般選抜</td><td rowspan="5">希望者</td><td>—</td><td rowspan="5">該当者</td><td rowspan="5">該当者</td><td rowspan="3">外国人の志願者</td><td rowspan="5">日本に在留する外国人</td></tr>
<tr><td>化学コース</td><td>社会人特別選抜</td><td>—</td></tr>
<tr><td>応用化学コース</td><td>社会人特別選抜</td><td>○</td></tr>
<tr><td>化学コース
応用化学コース</td><td>外国人留学生特別選抜</td><td>—</td><td>○</td></tr>
<tr><td>化学コース</td><td>出身学部等限定特別選抜</td><td>—</td><td>外国人の志願者</td></tr>
<tr><td rowspan="4">機械科学</td><td rowspan="4">—</td><td>一般選抜</td><td rowspan="4">希望者</td><td>—</td><td rowspan="4">該当者</td><td rowspan="4">該当者</td><td rowspan="2">外国人の志願者</td><td rowspan="4">日本に在留する外国人</td></tr>
<tr><td>社会人特別選抜</td><td>○</td></tr>
<tr><td>外国人留学生特別選抜</td><td>—</td><td>○</td></tr>
<tr><td>出身学部等限定特別選抜</td><td>—</td><td>外国人の志願者</td></tr>
<tr><td>フロンティア工学</td><td>—</td><td>外国人留学生特別選抜</td><td>希望者</td><td>—</td><td>該当者</td><td>該当者</td><td>○</td><td>日本に在留する外国人</td></tr>
<tr><td>電子情報通信学</td><td>—</td><td>外国人留学生特別選抜</td><td>希望者</td><td>—</td><td>該当者</td><td>該当者</td><td>○</td><td>日本に在留する外国人</td></tr>
<tr><td rowspan="5">地球社会基盤学</td><td rowspan="3">地球惑星科学コース
社会基盤工学コース</td><td>一般選抜</td><td rowspan="5">希望者</td><td>—</td><td rowspan="5">該当者</td><td rowspan="5">該当者</td><td rowspan="2">外国人の志願者</td><td rowspan="5">日本に在留する外国人</td></tr>
<tr><td>社会人特別選抜</td><td>○</td></tr>
<tr><td>外国人留学生特別選抜</td><td>—</td><td>○</td></tr>
<tr><td>地球惑星科学コース</td><td>出身学部等限定特別選抜</td><td>—</td><td rowspan="2">外国人の志願者</td></tr>
<tr><td>社会基盤工学コース</td><td>出身学部等限定特別選抜</td><td>—</td></tr>
</table>

Ⅷ. 試験場

専　　攻	試　験　場
数物科学専攻 物質化学専攻 機械科学専攻 フロンティア工学専攻 電子情報通信学専攻 地球社会基盤学専攻	金沢大学自然科学試験場(金沢市角間町)

Ⅸ. 英語外部試験スコア

専攻，選抜によっては，英語の筆記試験を行わず，英語外部試験(TOEIC,TOEFL,IELTS)のスコアを利用します。

英語外部試験のスコアは，出願期間中に他の出願書類とあわせて提出するのではなく，**選抜試験日に持参し提示してください。提示しない場合は失格となります。**提示されたオリジナルのスコアは，確認後に返却します。

◆利用できるスコアについて

英語外部試験	摘　　要	共通事項
TOEIC	・TOEIC L&Rのみ可。 カレッジ TOEIC(TOEIC IP), TOEIC S&W,TOEIC Bridge は不可。	・スコアは，公式の成績証明書類のオリジナル(郵送されたスコア)を提示してください。(コピー不可。インターネット上のスコア確認画面等を印刷したものは認めません。) ・スコアに顔写真が掲載されていないものは不可。 ・スコアの有効期限は，本研究科の選抜試験日から過去2年以内に受験したものとします。 ・タイプの異なる複数の試験のスコアの提示も可能です。
TOEFL	・TOEFL-iBT(Home Editionを含む), TOEFL-PBTのみ可。TOEFL ITP は不可。 ・TestDataスコアを利用します。 MyBestスコアは利用しません。	
IELTS		

◆英語外部試験を利用する専攻，選抜は以下のとおりです。○のついた試験から選択してください。

専　　攻		選　　抜	英語外部試験		
			TOEIC	TOEFL	IELTS
数物科学専攻	数学コース	一般選抜	○	○	－
		社会人特別選抜	○	○	－
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
	物理学コース	一般選抜	○	○	○
		社会人特別選抜	○	○	○
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
	計算科学コース	一般選抜	○	○	－
		社会人特別選抜	○	○	－
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
物質化学専攻	化学コース	一般選抜	○	○	－
		社会人特別選抜	○	○	－
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
		出身学部等限定特別選抜	○	○	－
	応用化学コース	社会人特別選抜	○	○	－
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
機械科学専攻		一般選抜	○	○	○
		社会人特別選抜	○	○	○
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
		出身学部等限定特別選抜	○	○	○
フロンティア工学専攻		外国人留学生特別選抜	○	○	○
電子情報通信学専攻		外国人留学生特別選抜	○	○	○
地球社会基盤学専攻	地球惑星科学コース	一般選抜	○	○	○
		社会人特別選抜	○	○	○
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
		出身学部等限定特別選抜	○	○	○
	社会基盤工学コース	一般選抜	○	○	－
		社会人特別選抜	○	○	－
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
		出身学部等限定特別選抜	○	○	－

X．合格者発表

令和6年1月26日(金)15時頃

合格者の受験番号を自然科学本館において掲示するとともに，金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト及び「オンライン合否照会システム」において発表します。

合格通知書が必要な場合は「オンライン合否照会システム」からダウンロードしてください（合格通知書は送付しません）。また，合格者は，自然科学研究科長あて「入学確約書」（様式は，合格者発表と同じWebサイトに掲載）を理工系事務部学生課入試係まで持参，郵送又はメールで提出してください。

金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト

https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/admission/index.html

オンライン合否照会システム

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/onlinegouhisyoukai

XI. 一般選抜

１．選抜方法（試験科目，試験日時）

選抜は，学力検査及び学業成績証明書を総合して行います。

1)試験科目

専　　攻		試　験　科　目			
		外国語	基礎科目	専門科目	口述試験
数物科学専攻	数学コース	英語　※1	－	－　※2	有
	物理学コース	英語　※1		－　※2	
	計算科学コース	英語　※1		－　※2	
物質化学専攻	化学コース	英語　※1	－	－　※2	有
機械科学専攻		英語　※1	数学	－　※2	有
地球社会基盤学専攻	地球惑星科学コース	英語　※1	－	－　※2	有
	社会基盤工学コース	英語　※1	数学	－　※2	

※1　「英語」の試験科目については，「IX. 英語外部試験スコア」(16～17ページ)を参照してください。
※2　第2次募集においては，募集人員が若干名のため，口述試験において入学者受入方針で定める能力を評価します。

2)試験日時

専　　攻		試　験　日	時　　間	試験科目
数物科学専攻	数学コース	令和5年12月23日(土)	13時　～	口述試験
	物理学コース		13時　～	口述試験
	計算科学コース		13時　～	口述試験
物質化学専攻	化学コース		14時　～	口述試験
機械科学専攻			9時　～　10時	数　　学
			13時　～	口述試験
地球社会基盤学専攻	地球惑星科学コース		13時　～	口述試験
	社会基盤工学コース		9時　～　10時	数　　学
			13時　～	口述試験

XⅡ. 社会人特別選抜

１．出願条件等

趣旨：科学技術の急速な変革，学際化，総合化に柔軟に対応できる人材の育成の一環として，地域社会・産官学から社会人のリフレッシュ教育・生涯教育の場が求められています。このような社会的要請に応えるために，教育研究機関，官公庁，企業等で開発・研究に携わっている又は携わってきた社会人を受入れ，高度な研究能力の活性化，知識・技術の習得を目的として，一般の志願者とは異なる社会人特別選抜を実施します。

出願条件：教育研究機関，官公庁，企業等に出願時に在職している者，又は，入学時に教育研究機関，官公庁，企業等において，3年以上の専門的な実務経験（通算可）を有する者で，Ⅳ. 出願資格（8～9ページ）の該当選抜欄の各号の一に該当するものとします。**なお，志願者は，令和5年10月27日（金）までに志望する専攻の専攻長又はコース長（25ページ参照）に必ず申し出てください。**

※物質化学専攻，機械科学専攻，地球社会基盤学専攻に関しては，研究指導を希望する教員に事前に連絡をして研究内容を相談した上で，令和5年10月27日（金）までに専攻長又はコース長に申し出てください。

２．選抜方法（試験科目，試験日時）

選抜は，学力検査及び出願書類を総合して行います。

専攻・コース		試験日	時間	試験科目
数物科学専攻	数学コース	令和5年12月23日（土）	－	英語　※1
			13時　～	口述試験
	物理学コース		－	英語　※1
			13時　～	口述試験
	計算科学コース		－	英語　※1
			13時　～	口述試験
物質化学専攻	化学コース		－	英語　※1
			14時　～	口述試験
	応用化学コース		－	英語　※1
			14時　～	口述試験
機械科学専攻			－	英語　※1
			13時　～	口述試験
地球社会基盤学専攻	地球惑星科学コース		－	英語　※1
			13時　～	口述試験
	社会基盤工学コース		－	英語　※1
			13時　～	口述試験

※1「英語」の試験科目については，「Ⅸ. 英語外部試験スコア」（16～17ページ）を参照してください。

XIII．外国人留学生特別選抜

１．出願条件

日本の国籍を有しない者で，Ⅳ．出願資格(8～9ページ)の該当選抜欄の各号の一に該当する者とします。なお，以下の者については出願できません。

○機械科学専攻：本学理工学域を卒業見込みの者及び卒業した者
○フロンティア工学専攻：本学理工学域を卒業見込みの者及び卒業した者
○電子情報通信学専攻：本学電子情報学類を卒業見込みの者及び卒業した者
本学電子情報通信学類を卒業見込みの者及び卒業した者
○地球社会基盤学専攻：本学地球社会基盤学類を卒業見込みの者及び卒業した者

志願者は，令和5年10月27日(金)までに志望する専攻の専攻長又はコース長(25ページ参照)に必ず申し出てください。

※物質化学専攻，機械科学専攻，フロンティア工学専攻，電子情報通信学専攻，地球社会基盤学専攻に関しては，研究指導を希望する教員に事前に連絡をして研究内容を相談した上で，令和5年10月27日(金)までに専攻長又はコース長に申し出てください。

２．選抜方法(試験科目，試験日時)

選抜は，学力検査及び出願書類を総合して行います。

専攻・コース		試験日	時間	試験科目
数物科学専攻	数学コース	令和5年12月23日(土)	－	英語 ※1
			－	専門科目 ※4
			13時 ～	口述試験 ※3
	物理学コース		－	英語 ※1
			－	専門科目 ※4
			13時 ～	口述試験 ※3
	計算科学コース		－	英語 ※1
			－	専門科目 ※4
			13時 ～	口述試験 ※3，※5
物質化学専攻	化学コース		－	英語 ※1
			－	専門科目 ※4
			14時 ～	口述試験
	応用化学コース		－	英語 ※1
			9時 ～ 12時	専門科目 ※2
			14時 ～	口述試験 ※2
機械科学専攻			－	英語 ※1
			9時 ～ 10時	数学
			－	専門科目 ※4
			13時 ～	口述試験 ※2
フロンティア工学専攻			－	英語 ※1
			9時 ～ 10時	数学
			－	専門科目 ※4
			13時 ～	口述試験
電子情報通信学専攻			－	英語 ※1
			9時 ～ 10時	数学
			－	専門科目 ※4
			13時 ～	口述試験

地球社会基盤学専攻	地球惑星科学コース	令和5年12月23日(土)	―	英　　語 ※1
			―	専門科目 ※4
			13時　～	口述試験
	社会基盤工学コース		―	英　　語 ※1
			9時　～　10時	数　　学
			―	専門科目 ※4
			13時　～	口述試験

※1　「英語」の試験科目については，「Ⅸ. 英語外部試験スコア」(16～17ページ)を参照してください。
英語を母語とする等の志願者については，「英語」の試験科目を免除することがありますので，令和5年10月27日(金)までに志望する専攻の専攻長又はコース長(25ページ参照)もしくは希望指導教員と連絡を取ってください。

※2　試験科目の全部または一部を免除することがあります。試験時に課す試験科目は，受験票出力可能日に通知します。

※3　数物科学専攻の口述試験は，英語で行うことがあります。

※4　口述試験において，入学者受入方針で定める能力を評価します。

※5　海外在住者へは，インターネット等による遠隔試験を認める場合があります。

XIV．出身学部等限定特別選抜

この特別選抜は，志望する専攻(コース)に応じて，出願条件・選抜方法等が異なります。

詳細は各専攻(コース)の記載欄を参照してください。**なお，志願者は，研究指導を希望する教員に事前に連絡をして研究内容を相談した上で，令和5年10月27日(金)までに必ず志望する専攻の専攻長又はコース長(25ページ参照)に申し出てください。**

≪ⅰ．物質化学専攻（化学コース）≫

１．出願条件等

趣旨：物質化学専攻(化学コース)では，広く人材を求めるため，一般の志願者と異なる特別選抜を実施します。

出願条件：**金沢大学理工学域物質化学類および金沢大学理学部化学科以外の出身で，Ⅳ．出願資格(8～9ページ)の該当選抜欄の各号の一に該当する者で，合格した場合，入学を確約できる者とします。（所定の期日までに入学確約書の提出を求めます）**

２．選抜方法(試験科目，試験日時)

選抜は，学力検査及び学業成績証明書を総合して行います。

試　験　日	時　　間	試験科目
令和5年12月23日(土)	－	英　　語　※1
	14時　～	口述試験　※2

※1 英語については，「Ⅸ．英語外部試験スコア」(16～17ページ)を参照してください。

※2 卒業研究又は大学院で希望する研究についてプレゼンテーションと口頭試問を行います。

≪ⅱ．機械科学専攻≫

１．出願条件等

趣旨：機械科学専攻では，広く人材を求めるため，一般の志願者と異なる特別選抜を実施します。

出願条件：金沢大学理工学域機械工学類以外の出身で，Ⅳ．出願資格(8～9ページ)の該当選抜欄の各号の一に該当する者で，合格した場合，入学を確約できる者とします。（所定の期日までに入学確約書の提出を求めます）

２．選抜方法（試験科目，試験日時）

この選抜は，「学力検査（筆記試験，口述試験又は英語外部試験スコア評価）」及び「学業成績証明書」に基づいて行います。

試　験　日	時　　間	試験科目
令和5年12月23日(土)	－	英　　語　※1
	9時　～　10時	数　　学
	13時　～	口述試験

※1 英語については，「Ⅸ．英語外部試験スコア」（16～17ページ）を参照してください。

≪ⅲ．地球社会基盤学専攻（地球惑星科学コース）≫

１．出願条件等

趣旨：地球社会基盤学専攻(地球惑星科学コース)では，地球科学及び環境学を中心とする教育・研究を行っていますが，学問の対象は，多岐にわたります。また，地球科学及び環境学分野の教育も，教育機関により異なった特徴があります。このため，地球科学及び環境学以外の分野ならびに異なった特徴をもつ地球科学等の分野を履修した者から，広く優秀な人材を求めるために，一般の志願者とは異なる特別選抜を実施します。

出願条件：**金沢大学理工学域地球社会基盤学類(地球惑星科学コース)，金沢大学理工学域自然システム学類(地球学コース)及び金沢大学理学部地球学科以外の出身で，Ⅳ．出願資格(8～9ペ**

ージ)の該当選抜欄の各号の一に該当する者とします。

また，次の①～③のいずれかに該当する学業成績・人物ともに優れた者のうち，④の要件を満たす者とします。

① 大学在学中の専門科目の4を最高としたGPA(※)が2.5以上の者。令和6年3月31日までに卒業見込の者は，3年次までの専門科目の4を最高としたGPAが2.5以上の者

② GPAを採用していない，あるいは学業成績証明書にGPAが記載されていない大学の場合，所属学科内での成績順位が上位1/3以内の者，成績順位が算出できない場合には，専門科目の成績において，修得単位の1/2以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されている者。

③ 専攻科修了および修了見込の者については，短期大学もしくは高等専門学校での所属学科内での成績順位が上位1/3以内の者，成績順位が算出できない場合には，専門科目の成績において，修得単位の1/2以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されている者。

④ 合格した場合，入学を確約できる者(所定の期日までに入学確約書の提出を求めます)。

※ GPAは金沢大学履修規程に定める方法に準じて算出する。

２．選抜方法(試験科目，試験日時)

選抜は，学力検査及び学業成績証明書を総合して行います。

試　験　日	時　　間	試験科目
令和5年12月23日(土)	―	英　　語　※1
	13時　～	口述試験　※2

※1 英語については，「Ⅸ．英語外部試験スコア」(16～17ページ)を参照してください。

※2 卒業研究又は大学院で希望する研究についてプレゼンテーションと口頭試問を行います。

≪ⅳ．地球社会基盤学専攻（社会基盤工学コース）≫

１．出願条件等

趣旨：地球社会基盤学専攻(社会基盤工学コース)では，土木工学を主体とする教育・研究を行っていますが，学問の対象が学際領域である場合が多々あります。このため，学部教育を土木系以外の分野において履修した者でも，成績が優秀でかつ社会基盤工学コースにおいて学問を行う明確な方針を持っていれば，十分な成果を上げることができます。そこで広く人材を求めるため，一般の志願者とは異なる特別選抜を実施します。なお，出身学部等によって二つの選抜方法があります。

出願条件：**Ⅳ．出願資格(8～9ページ)の該当選抜欄の各号の一に該当する者とします。出身学部等によって以下のとおり出願区分が異なります。**

（Ⅰ型）土木系以外の理工系学部出身者

（Ⅱ型）理工系以外の学部等出身者

※自身の出身がⅠ型またはⅡ型のいずれに該当するか不明な場合には，地球社会基盤学専攻長（25ページ参照）へ問い合わせてください。

２．選抜方法(試験科目，試験日時)

（Ⅰ型）

選抜は，学力検査及び学業成績証明書を総合して行います。

試　験　日	時　　間	試験科目
令和5年12月23日(土)	―	英　　語　※1
	9時　～　10時	数　　学
	13時　～	口述試験　※2

※1 英語については，「Ⅸ．英語外部試験スコア」(16～17ページ)を参照してください。

※2 口述試験において，卒業研究または大学院で希望する研究について口頭試問を行います。

（Ⅱ型）

選抜は，学力検査，学業成績証明書を総合して行います。

試　験　日	時　　間	試験科目
令和5年12月23日（土）	－	英　　語　※1
	13時　～	口述試験　※2

※1 英語については，「Ⅸ．英語外部試験スコア」（16～17ページ）を参照してください。

※2 口述試験において，卒業研究または大学院で希望する研究について口頭試問を行います。

XV. 共通事項(一般選抜・特別選抜)

１．身体に障がいのある者等の事前相談

入学志願者で，障がい等があり，受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は，出願期間締切日の3日前までに下記の書類を提出し事前に相談してください。

①事前相談書(下記事項を記載，様式随意)

・氏名，志望専攻名
・障がいの種類・程度
・受験及び修学に特別な配慮を希望する事項
・大学等でとられていた配慮
・日常生活の状況
・その他参考となる事項

②医師の診断書

③その他の参考書類(障害者手帳の写し等)

２．専攻長・コース長への事前連絡

以下の志願者は，出願期間前の令和5年10月27日(金)までに，志望する専攻長又はコース長に申し出る必要がありますので，注意してください。

・社会人特別選抜志願者
・外国人留学生特別選抜志願者
・出身学部等限定特別選抜志願者
・(外国人留学生特別選抜で)英語を母語とする等の志願者

※物質化学専攻，機械科学専攻，フロンティア工学専攻，電子情報通信学専攻，地球社会基盤学専攻に関しては，研究指導を希望する教員に事前に連絡をして研究内容を相談した上で，令和5年10月27日(金)までに専攻長又はコース長に申し出てください。

専攻長・コース長及び連絡先

専　　攻	氏名	連絡先(電話)	備　　考
数物科学専攻	(専攻長) 教授 新井 豊子	076－264－5660	arai@staff. kanazawa-u.ac.jp
物質化学専攻 (化学コース)	(専攻長兼コース長) 教授 秋根 茂久	076－264－5701	akine@se. kanazawa-u.ac.jp
物質化学専攻 (応用化学コース)	(コース長) 教授 本田 光典	076－234－4789	honda@se. kanazawa-u.ac.jp
機械科学専攻	(専攻長) 教授 浅川 直紀	076－234－4734	nasakawa@se. kanazawa-u.ac.jp
フロンティア工学専攻	(専攻長) 教授 小松﨑 俊彦	076－234－4673	toshi@se. kanazawa-u.ac.jp
電子情報通信学専攻	(専攻長) 教授 北川 章夫	076－234－4863	eice-g@se. kanazawa-u.ac.jp
地球社会基盤学専攻	(専攻長) 教授 西野 達也	076－234－4649	nyushi-gsce@se. kanazawa-u.ac.jp

３．大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例制度

本研究科では，在職者等必要がある者に対して，大学院での学修を容易とするための「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」制度を設けています。

この制度を利用することで，自然科学研究科規程等に定められた教育課程に基づき，担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

制度の適用を希望する場合は，「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請について」【様式6】を出願時に提出してください。また，「志願者調書」【様式1】及び「研究(希望)計画書」【様式5】の所定欄に希望する旨の表示を記入してください。

参考：大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)[抄] 第14条　大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

４．長期履修制度

長期履修制度とは，職業を有している等の事情により標準修業年限内での修学の困難な者に対して，標準修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間に，計画的な教育課程の履修を認めるものです。本研究科博士前期課程では，最長4年までの在学期間を認めています。入学時に許可されれば，通常の修業年限(2年)において支払う授業料の総額を，長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。

長期履修を申し出ることができる者は，次のいずれかに該当する者で，標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものです。

①有職者
②家事，育児，介護等に従事している者
③身体障がい，知的障がい，精神障がい(発達障がいを含む)その他心身の機能に障がいがある者

長期履修制度の利用を希望する場合は，「志願者調書」【様式1】及び「研究(希望)計画書」【様式5】の所定欄に希望する旨の表示を記入してください。

注1．申請方法等は，合格通知とともにお知らせします。
注2．申請しても許可されない場合もありますので，ご承知おきください。

５．各専攻における注意事項及び配点

数物科学専攻受験者

数物科学専攻は，数学コース，物理学コース及び計算科学コースの3コースからなります。志願研究分野は異なるコースをまたがって選んではいけません。

専攻の詳細については，　https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/WebJ_MP.html
を参照してください。

一般選抜(口述試験)科目の配点は以下の通りです。

『数学コース』

一般選抜（口述試験）科目の配点について

・英語　　100点(TOEIC又はTOEFLのスコアで評価します*)
・口述試験　　400点

＊ TOEICの場合は800点，TOEFLの場合は89点(iBTの場合)を満点として，専攻の定めた換算により配点します。なお，TOEICとTOEFLのスコアを同時に提示した場合，専攻の定めた換算により優れた方を採用します。

『物理学コース』

一般選抜（口述試験）科目の配点について

・英語　　100点(TOEIC，TOEFL又はIELTSのスコアで評価します*)
・口述試験　　200点

＊ TOEICの場合は800点，TOEFLの場合は89点(iBTの場合)，IELTSの場合は6.6点を満点として，専攻の定めた換算により配点します。なお，複数の試験のスコアを同時に提示した場合，専攻の定めた換算により優れた方を採用します。

『計算科学コース』

一般選抜（口述試験）科目の配点について

・英語　　100点(TOEIC又はTOEFLのスコアで評価します*)

・口述試験　　400点

＊ TOEICの場合は800点，TOEFLの場合は89点(iBTの場合)を満点として，専攻の定めた換算により配点します。なお，TOEICとTOEFLのスコアを同時に提示した場合，専攻の定めた換算により優れた方を採用します。

物質化学専攻受験者

物質化学専攻は，化学コース及び応用化学コースの2コースからなり，それぞれ学力検査内容が異なるので出願に際し注意してください。

専攻の詳細については，　https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/WebJ_MC.html
を参照してください。

一般選抜(口述試験)科目の配点は以下のとおりです。

『化学コース』

一般選抜(口述試験)科目の配点について

・英語　　100点(TOEIC又はTOEFLのスコアで評価します*)

・口述試験　　400点

＊ TOEICの場合は800点，TOEFLの場合は89点(iBTの場合)を満点として，専攻の定めた換算により配点します。なお，TOEICとTOEFLのスコアを同時に提示した場合，専攻の定めた換算により優れた方を採用します。

機械科学専攻受験者

専攻の詳細については，　https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/WebJ_ME.html
を参照してください。

一般選抜(筆記試験及び口述試験)科目の配点は以下のとおりです。

・英語　　100点(TOEIC，TOEFL又はIELTSのスコアで評価します*)

・数学　　100点

・口述試験　　200点

＊ TOEICの場合は800点，TOEFLの場合は89点(iBTの場合)，IELTSの場合は6.5点を満点として，専攻の定めた換算により配点します。なお，タイプの異なる複数の試験のスコアを同時に提示した場合，専攻の定めた換算により優れた方を採用します。

地球社会基盤学専攻受験者

専攻の詳細については，　https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/WebJ_GC.html
を参照してください。

一般選抜(筆記試験及び口述試験)科目の配点は以下のとおりです。

『地球惑星科学コース』

・英語　　100点(TOEIC，TOEFL又はIELTSのスコアで評価します*)

・口述試験　　200点

＊ TOEICの場合は800点，TOEFLの場合は89点(iBTの場合)，IELTSの場合は6.5点を満点として，専攻の定めた換算法により配点します。タイプの異なる複数の試験のスコアを提示した場合は，専攻の定めた換算法により換算し高い方の得点を採用します。

『社会基盤工学コース』

・英語　　100点(TOEIC又はTOEFLのスコアで評価します*)

・数学　　100点

・口述試験　　200点

＊ TOEICの場合は800点，TOEFLの場合は89点（iBTの場合）を満点として，専攻の定めた換算方法により配点します。タイプの異なる複数の試験のスコアを提示した場合は，専攻の定めた換算法により換算し高い方の得点を採用します。

６．研究分野・担当教員名簿

志願者調書（様式1）の志望専攻，研究分野欄の記入について

「志望専攻・コース・系」欄に志望する専攻名，コース名及び系を記入してください。

・専攻名のみ記入する専攻…機械科学専攻，電子情報通信学専攻
・コース名を記入する専攻…数物科学専攻，物質化学専攻，地球社会基盤学専攻
・系を記入する専攻…フロンティア工学専攻(「機械工学系」「化学工学系」「電子情報工学系」の中から1つ選んで記入する。)

「研究分野」欄においては，希望する研究分野を記入する必要があります。以下のWebサイトに掲載の担当教員名簿を参照のうえ，第1志望及び第2志望を選択し，記入してください。電子情報通信学専攻においては**必ず**第2志望まで記入してください。数物科学専攻，物質化学専攻，機械科学専攻，フロンティア工学専攻，地球社会基盤学専攻においては，第1志望を必ず記入し，第2志望は希望がある場合のみ記入してください。なお，第1志望と第2志望を異なる専攻，コース，系から選択することはできません。

大学院自然科学研究科博士前期課程　担当教員名簿
https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/index.html
(注) (***)印のついた教員は令和6年3月定年退職予定，(**)印のついた教員は令和7年3月退職予定，(#)印のついた教員は主任指導教員にはなれません。

７．問合せ先

金沢大学理工系事務部学生課 入試係
〒920-1192 金沢市角間町
TEL： 076-234-6823　E-mail: s-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

８．個人情報の保護

本学では，独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき，本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出していただく書類に記載されている全ての個人情報は，次の業務で利用します。

(1) 入学者選抜及び入学手続に関わる業務
(2) 入学後の学籍管理，修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
(3) 入学後の本学ポータルサイト利用，学内LAN利用，図書館利用及び図書貸し出し等の学内サービス業務
(4) 入学料免除，授業料免除，奨学生選考等の修学支援に関わる業務
(5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
(6) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
(7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
(8) 修了生に対する学習成果等調査(アウトカムズ・アセスメント)，同窓会及び基金活動への支援，本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
(9) その他，個人が特定できない形で行う統計処理業務

９．その他

過去の試験問題の公表

過去の筆記試験問題については，下記Webサイトを参照ください。
金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト
https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/admission/exam.html

XVI．学生生活

１．授業料等納付金

(1)入学手続時の必要経費

入学料　282,000円(予定)

(2)授業料

前期分　267,900円(予定)〔年額　535,800円(予定)〕

注)上記(1)及び(2)の納付金額は予定額であり，入学時または在学中に入学料・授業料が改定された場合には，改定時から新入学料・新授業料が適用されます。

(3)その他必要な経費

学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び学研災付帯賠償責任保険(付帯賠責)　保険料(2年分)2,430円

２．入学料免除

下記のいずれかの事由に該当する者で，入学料免除を申請した者に対し，選考の上，入学料の全額又は半額を免除することがあります。申請方法等の詳細は，合格後に送付される大学院入学手続要項を参照してください。

①大学院に入学する者で，経済的理由によって納付が困難であり，かつ学業優秀と認められる者

②入学前1年以内において，学資負担者が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

なお，入学料免除申請に係る問合せ先は以下のとおりです。

学務部学生支援課学生支援係　〒920-1192　金沢市角間町　TEL 076-264-5164

３．授業料免除

下記のいずれかの事由に該当する者で，授業料免除を申請した者に対し，選考の上，納入すべき学期の授業料の全額，半額又は一部を免除することがあります。申請方法等の詳細は，合格後に送付される大学院入学手続要項を参照してください。

①経済的理由により授業料を納入することが困難であり，かつ，学業が優秀である者

②各学期納付前6か月以内(新入学生は，入学年度の最初の学期に限り入学前1年以内)に，学資負担者が死亡，本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，授業料の納入が困難になった者

なお，授業料免除申請に係る問合せ先は以下のとおりです。

学務部学生支援課学生支援係　〒920-1192　金沢市角間町　TEL 076-264-5164

４．奨学金

奨学金には，日本学生支援機構，都道府県・市区町村，民間の育英団体のものがあります。ほとんどが貸与奨学金であり，修了後に返還が必要です。

日本学生支援機構奨学金には，大学院進学前に大学院入学後の奨学金を予約する「予約採用」と大学院入学後に申込みを行う「在学採用」があります。本学では第一種奨学金(無利子)のみ「予約採用」を実施しており，予約採用で第一種奨学生全推薦数の約8割を募集します。第一種奨学生の約2割と第二種奨学生(有利子)は在学採用で募集を行います。

①日本学生支援機構奨学金貸与月額(2022年博士前期課程入学者)

・第一種奨学金50,000円，88,000円 から希望月額を選択

・第二種奨学金50,000円，80,000円，100,000円，130,000円，150,000円から希望月額を選択

②予約採用申請手続申請方法等の詳細は，合格後に送付されます。

なお，奨学金申請に係る問合せ先は以下のとおりです。

学務部学生支援課学生支援係　〒920-1192　金沢市角間町　TEL 076-264-5170

日本学生支援機構在学採用，地方公共団体・民間育英団体については，合格後に送付される大学院入学手続要項を参照してください。

修士課程・博士前期課程・専門職学位課程への進学者を対象として，「日本学生支援機構　特に優れた業績による奨学金返還免除制度」を設けています。
当内定制度への申請方法等は入学年の前年12月に以下の本学Webサイトに掲載します。
なお，年度により推薦枠が割り当てられない場合があります。
本学トップページ＞学生生活＞奨学金・各種給付・貸付等
https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/scholarship
制度概要は日本学生支援機構Webサイトをご確認ください。
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/tetsuduki/syushinaitei.html

また，外国人留学生を対象として，金沢大学独自の奨学金制度を設けています。
詳細については，下記Webサイトを参照してください。
https://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ie/j/abroad/scholarship.html

５．卓越大学院プログラム「ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム」

卓越大学院プログラムは，本学の強みを核に国内外の大学・研究機関・民間企業などの外部機関と組織的な連携を図り，世界最高水準の教育力・研究力を結集した5年一貫型（4年制の博士課程を含む）の博士課程学位プログラムです。
本学では，大学院自然科学研究科，医薬保健学総合研究科，先進予防医学研究科及び新学術創成研究科を対象とし，これら研究科の枠を超え，複数の民間企業や海外トップ大学が参画する新たな大学院プログラムとして「ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム」を構築しました。本学の強みである文部科学省「世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）」ナノ生命科学研究所（NanoLSI）の有する最先端のナノ解析技術を活用し，医薬保健学・理工学へと応用する術を修得することで，人類の健康基盤構築のためのイノベーションを起こしうる卓越した博士人材を育成します。
プログラム履修者は，各研究科入学者選抜試験合格者から選抜し，履修者には給付型奨学金（博士前期課程月額5万円，博士後期課程月額10万円）の支給，入学料・授業料の全額免除といった手厚い経済的支援を行います。
また，プログラム履修者は，各研究科の科目履修に加え，プログラムが提供するナノ科学，イノベーションマネジメント，数理・データサイエンスや異分野融合に関する科目を履修することで所属研究科が規定する博士の学位を得るとともに学位記に，本プログラム修了を付記します。
本プログラムの詳細はWebサイトで確認ください。また，フォームにより登録すれば，募集要項や事前講義・セミナー等情報を配信します。

なお，卓越大学院プログラムに係る問合せ先は以下のとおりです。
卓越大学院プログラム推進室 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-5959

ナノ精密医学・理工学
卓越大学院プログラムWebサイト
Program Web Site

情報配信希望フォーム
Registration form

６．外国人留学生日本就職促進プログラム
留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」

日本での就職・キャリアを考えてみませんか。

プログラム履修者のうち，日本企業就職希望者は100％日本企業から内定を獲得しています。

本学では，日本での就職を検討している外国人留学生を対象にビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップを軸とした付加プログラムを展開しています。これにより，高度な専門知識と技術を有するだけでなく，日本の企業文化や地域特性を理解した上で日本企業で活躍できる人材を育成し，日本での就職を支援します。

プログラム説明会は入学時期に応じて4月・10月の年2回行います。日程は入学後に通知しますので，是非出席してください。

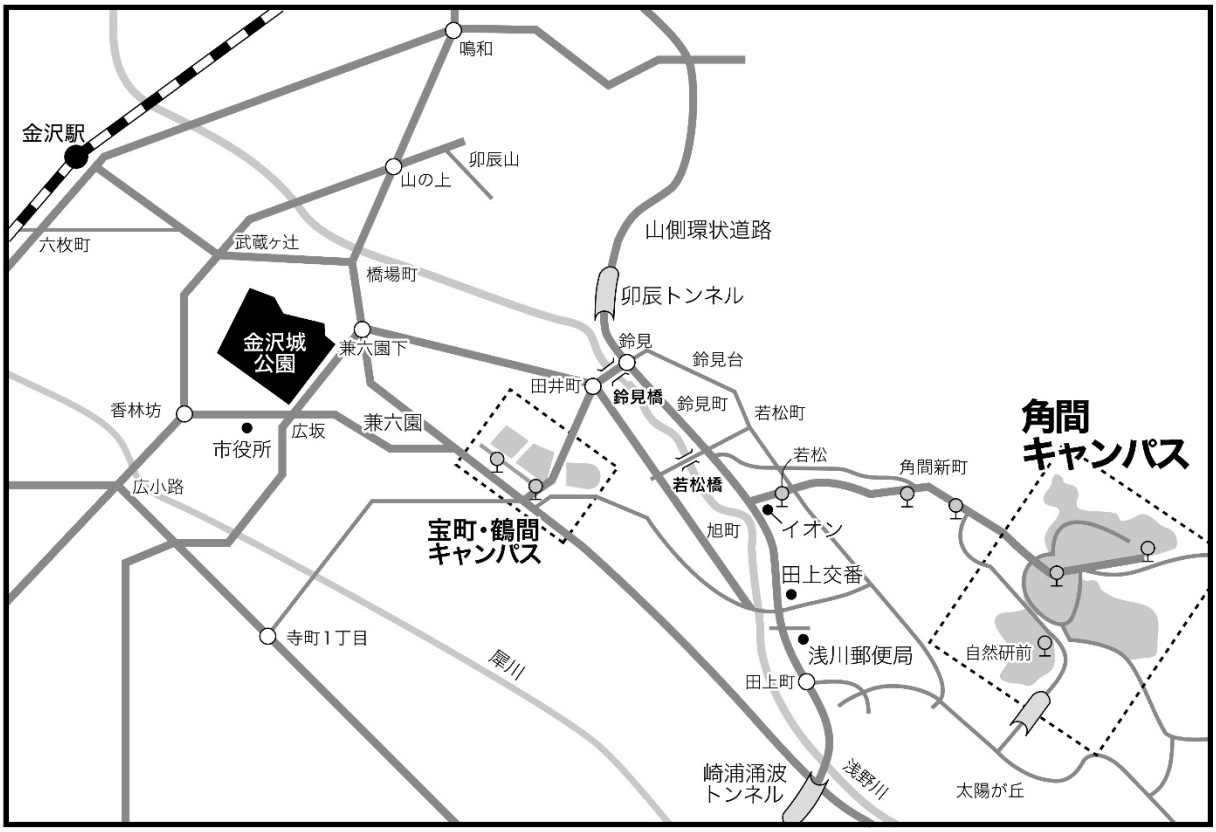
なお，留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」に係る問い合わせ先は以下のとおりです。

金沢大学学務部キャリア支援室
〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-6045　Email kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp

Link KAGAYAKI Webサイト
https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp/

Link KAGAYAKI事務局メール
kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp

自然科学研究科の所在地略図



■金沢駅からキャンパスまでのアクセス

（北陸鉄道バス利用の場合）

●角間キャンパス〈バス停：金沢大学自然研前〉まで

JR金沢駅兼六園口（東口）から北陸鉄道バス「金沢大学（角間）」行き乗車「金沢大学自然研前」下車徒歩すぐ（自然科学本館まで），徒歩3分（自然科学5号館まで）

（バス所要時間 約35分）

〔第２次募集〕

【様式１】
令和６年度金沢大学大学院
自然科学研究科博士前期課程

受験番号	※

志願者調書

選抜方式（いずれか一つに✔マークを記入してください）
□ 一般選抜 □ 社会人特別選抜　　□ 外国人留学生特別選抜 □ 出身学部等限定特別選抜（※） ※地球社会基盤学専攻社会基盤工学コース志望の方は次も記入してください。 □Ⅰ型　□Ⅱ型

ふりがな 氏　名			
志望専攻 コース・系	専攻	コース・系	
研究分野	第１志望	第２志望	□ 長期履修希望 □ 14 条特例適用希望

学　　歴			
学校名（取得学位）		入学年月 卒業・卒業見込年月	正規の 修学年数
小学校 （注 6）		年　月　入学 年　月　卒業	年
中学校 （注 6）		年　月　入学 年　月　卒業	年
高等学校	高等学校 高等専門学校　　科	年　月　入学 年　月　卒業	年
大学	大学　　学部　　学科 短期大学　　学域　　学類 専門学校　　専攻 （取得学位：　　）	年　月　入学 年　月　卒業 卒業見込 その他（　　）	年

職　　歴　（職歴がない場合は「なし」と記入して下さい。）	
年　月	
年　月	
年　月	

注 1）※欄は記入しないでください。
注 2）志望専攻・コース・系欄の記入にあたっては，29 ページの「志願者調書（様式 1）の志望専攻，研究分野欄の記入について」に従い記入してください。フロンティア工学専攻においては，「機械工学系」「化学工学系」「電子情報工学系」の中から１つ選んで記入してください。
注 3）研究分野の第１志望，第２志望の記入にあたっては，29 ページに記載の Web サイトから選択し記入してください。電子情報通信学専攻においては必ず第２志望まで記入してください。数物科学専攻，物質化学専攻，機械科学専攻，フロンティア工学専攻，地球社会基盤学専攻においては，第１志望は必ず記入し，第２志望がある場合のみ記入してください。なお，第１志望と第２志望を異なる専攻，コース，系から選択することはできません。
注 4）長期履修，14 条特例適用希望については，26 ページを参照してください。
注 5）□には，該当する場合のみ✔マークを記入してください。
注 6）小学校，中学校欄については，8～9 ページ「Ⅳ．出願資格」(3)，(5)，(6)，(9)，(10) 又は (11) により出願しようとする者のみ記入してください。

〔第２次募集〕

【様式２】
令和６年度金沢大学大学院
自然科学研究科博士前期課程
社会人特別選抜志願者

受験番号	※

推 薦 書・意見書

志願者氏名：　　（志望専攻：　　専攻　　コース・系）
（志望専攻における希望指導教員名：　　）
・志願者の研究内容，希望，素質及び能力等についてのご意見をご記入ください。

年　　月　　日 推薦者氏名（署名）		志願者との関係
連絡先	所属機関	職　名
	所在地	電話（　　）　　－

注１）記入者は勤務先の所属長又は卒業研究の指導教員としてください。
注２）※欄は記入しないでください。

〔第２次募集〕

【様式 3】
令和 6 年度金沢大学大学院
自然科学研究科博士前期課程
一般選抜（数物科学専攻計算科学コース）志願者
外国人留学生特別選抜（数物科学専攻計算科学コース）志願者
出身学部等限定特別選抜（地球社会基盤学専攻社会基盤工学コース）志願者

受験番号	※

志 願 理 由 書

記入にあたっての注意
大学時代などこれまでの研究活動，数物科学専攻計算科学コース又は地球社会基盤学専攻社会基盤工学コースを志望する理由，特に研究を希望する分野・内容，大学院での抱負，大学院修了後に活躍したい分野などについて簡潔・明瞭に記入してください。（数物科学専攻計算科学コース志願者は 1,500 字程度で，この様式に記入できない場合は別葉を加えてください。地球社会基盤学専攻社会基盤工学コース志願者は 1,000 字以内で記入してください。）

（以下裏頁）

年　　月　　日

氏　　名

※欄は記入しないでください。

〔第２次募集〕

【様式４】
令和６年度金沢大学大学院
自然科学研究科博士前期課程
出身学部等限定特別選抜（物質化学専攻化学コース，地球社会基盤学専攻地球惑星科学コース）志願者

受験番号	※

自 己 申 告 書

記入にあたっての注意
これまで興味を持って取り組んできたこと，得意科目，希望する研究分野・内容及び大学院進学後の抱負などについて，400 字程度で簡潔にまとめてください。

年　　月　　日　　（志望専攻：　　専攻　　コース・系） 氏　　名

志願者調書記載の研究分野を記入してください。	
第１志望：	第２志望：

※欄は記入しないでください。

〔第 2 次募集〕

【様式 5】
令和 6 年度金沢大学大学院
自然科学研究科博士前期課程
社会人特別選抜 志願者

受験番号	※

研究（希望）計画書

記入にあたっての注意
入学後に希望する課題又は分野等について，概要を 1,000 字程度にまとめて記入してください。

□ 長期履修希望
□ 14 条特例適用希望

（以下裏頁）

年　　月　　日　　（志望専攻：　　専攻　　コース・系）

氏　　名

注 1）※欄は記入しないでください。
注 2）長期履修を希望する場合には，□に✓を記入してください。（長期履修制度については，26 ページ参照）
注 3）14 条特例適用を希望する場合には，□に✓を記入してください。（14 条特例については，26 ページ参照）

〔第２次募集〕

【様式６】

受験番号	※

年　　月　　日

金沢大学大学院自然科学研究科長　　殿

申請者氏名（署名）

大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請について

このことについて，下記の理由により修学上必要としますので，大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例を適用くださるようお願いします。

記

（申請理由）

※欄は記入しないでください。

〔第２次募集〕

【様式Ｉ】

入学試験出願資格認定申請書

受験番号	※

金沢大学大学院自然科学研究科長　殿

貴大学大学院自然科学研究科（博士前期課程）入学試験に出願を希望します。
ついては，出願資格の認定を受けたいので，所定の書類を添えて申請します。

年　　月　　日

ふりがな

氏　名　　男　・　女

年　　月　　日生　（　　歳）

現住所	（〒　　） 連絡先　TEL 携帯 TEL

学　　歴

	学校名	入学年月日 卒業・卒業見込	正規の 修学年数
小学校		年　　月　入学 年　　月　卒業	年
中学校		年　　月　入学 年　　月　卒業	年
高等学校	高等学校 高等専門学校　　科	年　　月　入学 年　　月　卒業	年
大学	大　学　　学部　　学科 短期大学　　学域　　学類 専門学校　　専攻 （取得学位：　　）	年　　月　入学 年　　月　卒業 卒業見込 その他（　　）	年

職　　歴

※職歴がない場合は「なし」と記入してください。

年　月	
年　月	
年　月	
年　月	

※本様式に書ききれない場合は裏面を利用してください。